

銀漢亭日録



伊藤伊那男

6月26日(月)▼俵屋泊。何とも豊かな睡眠を賜る。楨の香りの風呂に三十分程。朝食は湯豆腐、ぐじの塩焼など。エッセイも書き、京都を知っているつもりでも「一力」で遊び、此の宿に泊まり、淡々とさりげない接待を受けると、まだまだ、京都の二、三割しか知らなかったのだ……と思う。

十時半、細川タクシーで六波羅蜜寺→珍皇寺→清閑寺→大谷祖廟(A氏夫人の両親が分骨されているのことにて。私の妻も)→長樂寺→西行庵→芭蕉堂など。全体でいうと建礼門院、小督局などの史跡巡りとなった。十三時半、俵屋系列の「天邑」へ。海胆の海苔包み揚げ、生湯葉揚げ、生麴揚げなど、いかにも京風素材の天麴羅。もちろん琵琶湖の鮎、さいまさなどもたまらない！ 酒は「俵屋」。十五時、ご夫婦と別れて新京極「スマート珈琲店」でコーヒー。誓願寺に寄り、酒場「スタンド」と一気にB級グルメに戻る。「たつみ」へ梯子。でもこの店のぐじの塩焼はなかなかであった。京都駅で新幹線発車までの時間、いつもの「おそば処 葵」。二十三時帰宅。店は本日臨時休業。

27日(火)▼「萩句会」選句。山田真砂年、山崎祐子さん。いわき海の俳句大会で岡本同世さんがどなたか選者の特選と。閑散。

28日(水)▼「雛句会」十四人。熱気あり、津田卓さんの名幹事。大岡信氏を送る会に出席したという伊那の小池百人君が寄ってくれた。こしだまはさんと来店した読売新聞の西島徹さん、慶應志木

あと十五人。

7日(金)▼六十八歳誕生日。店、十三人の方が祝いに来て下さる。

高校同期大野田君、ヴーヴクリコで乾杯と。「大倉句会」あと二十一人と賑わう。谷口桂子さん、芥川龍之介と恋人についての新著、「越し人―芥川龍之介最後の恋人」出版間際と。ネットで私を知っていたという森谷さん来店。「極句会」を紹介。

8日(土)▼上越新幹線、羽越線で新潟村上市へ。タクシーで村上城跡へ。往復一時間程散策。一三五メートルの城址から飯豊山、朝日連峰、三面川、日本海などを見る。町は昨日まで祭だったと。戻って鈍行で鶴岡へ。迎えの車で湯野浜温泉へ。「月の匣」(水内慶太主宰)七周年記念会に招待される。早速選句。祝宴。十九時、中断して日本海へ沈む夕日を見る。

9日(日)▼七時半、朝食。八時四十五分、バスにて「加茂水族館」。くらげで人気。鳥海山の残雪が美しい。酒田に出て山居倉庫見学。日枝神社前の「鈴政」にて昼食。絶品の寿司、特に別注のどくろの焙り寿司には瞠目！ 鶴岡に戻り、致道館。土産店で時間調整して羽越線・上越新幹線で東京。駅地下で打上げをして二十時帰宅。梅雨晴の二日間。

10日(月)▼「銀化」の梅田津・峯尾文世さん等四人。勉強会。他は閑散。

11日(火)▼酷暑。店超結社句会「火の会」。何と十五人集まる。鳥居真里子さんの超結社句会「駿の会」発行所で開いたあと五人来店。高校同期の大住光汪君、私の誕生日祝いと来店。ヴーヴクリコ二本で乾杯。

高で授業に俳句を取り入れた熱心な先生がいたと……本井英さんであった。

29日(木)▼予約ない日。茅野市在住でホームページ見て今年入会したという蜂谷敦さん、出張で上京とて店を訪ねてきて下さる。村上護先生を偲ぶ会あとの麻里伊、中村十郎さん他。水内慶太、山田真砂年、土肥あき子さんも。

7月1日(土)▼運営委員会、午後、万世橋会館にて「銀漢本部句会」。近くを通ったので「神田まつや」で大盛。句会六十二人。あと「甘太郎」にて親睦会十人。

2日(日)▼都議選投票。中野サンプラザにて「春耕同人句会」。中島八起氏へ句集最終校正渡す。暑気払いの会三十人。あと、五、六人で二次会。「都民ファーストの会」完勝のニュース。

3日(月)▼岩野齒科定期検診。あ・ん・ど・うクリニックにも。暑い！ 八月号同人評、飛露さんに送る。店「かさ、ぎ俳句勉強会」あと十一人。皆川文弘さん。

4日(火)▼彗星集選評書いて八月号終了。客三人程というひどい日。台風到来。以前、文化放送の大竹まことの「大竹発見伝」ザ・ゴールデンヒストリーで私を知って訪ねてくれた本田さんが俳句をやっているという友人と。その方は若井新一さんと新潟の高校の同期であったと。二十一時過に閉めて、「大金星」で小酌。

5日(水)▼「宙句会」五周年記念誌へ一文。田中敬子句集選句など。「宙句会」あと十六人。「きさらぎ句会」あと八人。

6日(木)▼発行所、原田さがみさん句集発送作業。「十六夜句会」

12日(水)▼発行所、「梶の葉句会」の選句。店、法政大学教授高柳さんと飯田高校のOB四人。閑散にて、早々に閉めて帰宅すると近所のユータ君来ていて一緒に飲む。伊那の「信州伊那井月俳句大会」投句千六百句ほどから三十句選句。

13日(木)▼八月号校正。「極句会」あと八人。来月より「銀漢」の三十番目の登録句会とする。松代展枝さん幹事。ORIX時代の女子社員三名来店。新入社員だったのに何と五十代半ばと！ 村上鞆彦、今泉玲奈さん。

14日(金)▼発行所校正作業。升本栄子さん御息女と。

15日(土)▼品川発九時十分の新幹線にて京都へ。円山公園内「京料理 志ぐれ」に「銀漢」七人、「天為」四人の十一人集合。昼食と三句出し句会。あと銀漢組は新京極の「たつみ」で飲み直し。暑い街を抜けて「からすま京都ホテル」に荷を解く。十八時、「しん」に十人集合し、宴会。鰻のおとし、炙りなど佳し。宵々山を楽しむ。船鉾町の長江家住宅の屏風祭よし。熱気に打たれ二十時には就寝。

16日(日)▼六時起床。今日も晴。七時、コメダ珈琲店のモーニングセット。蕪村旧居拝して戻る。京都駅から膳所経由で坂本。里坊を散策して「本家鶴喜そば」。辻本理恵、中島凌雲君加わり十三人。句会、昼の酒。ケーブルで比叡山。根本中堂参拝。いきなりの雷雨。ロープウェイとケーブルで八瀬へ。十八時、聖護院河道屋養老で酒盛り。句会。京阪で三条に出て青山へ。蟠螂山の蟠螂の斧が不具合で面白い。一軒寄って今日は「チェックイン四条烏丸」というホテル。究極の狭い部屋。少し飲んで二十四時過ぎ就寝。